

(資料56) 廃棄物等の発生量

区 分	平成16年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
	発生量	発生量	発生量	発生量	発生量	発生量
可燃物	80,600 kg	48,439 kg	40,851 kg	37,010 kg	39,661 kg	36,191 kg
実験廃液	16,519 L	12,362 L	12,102 L	10,894 L	10,922 L	10,114 L
循環資源	廃プラスチック類	15,054 kg	14,022 kg	14,271 kg	13,534 kg	13,337 kg
	ペットボトル	1,664 kg	1,585 kg	1,297 kg	1,286 kg	1,415 kg
	アルミ缶	542 kg	320 kg	399 kg	309 kg	477 kg
	金属くず	8,144 kg	4,601 kg	3,326 kg	3,416 kg	4,898 kg
	機器等	2,850 kg	427 kg	423 kg	374 kg	912 kg
	電池類	435 kg	309 kg	394 kg	579 kg	320 kg
	蛍光灯		672 kg	660 kg	629 kg	569 kg
	古紙	46,528 kg	36,048 kg	37,568 kg	36,313 kg	44,082 kg
	空き瓶	5,475 kg	4,468 kg	3,923 kg	3,721 kg	3,434 kg
	ガラスくず	1,986 kg	1,608 kg	1,932 kg	1,912 kg	1,771 kg
	感染性廃棄物		36 kg	83 kg	105 kg	106 kg
	生ゴミ		9,251 kg	8,209 kg	8,271 kg	7,655 kg
合 計	179,797 kg	134,146 kg	125,438 kg	118,353 kg	129,560 kg	
研究所の職員数	1,006人	1,001人	1,028人	1,070人	1,085人	
1人当たりの発生量	0.490kg/人・日	0.367kg/人・日	0.334kg/人・日	0.303kg/人・日	0.327kg/人・日	

注1 生ごみについては、コンポスト化により可燃物から循環資源へ区分変更(17年12月より変更)

注2 循環資源は、リサイクル専門の外部業者に全量を処理委託した。

注3 合計の重量は、実験廃液を1リットル=1kgと仮定して計算した。

注4 職員数は、通年で勤務している人数を勤務形態等から算定した数で「常勤換算数」による。

注5 所内の研究及び事務活動から直接生じたものを本表の集計対象としている。